

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)  
※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしきがいしゃげきだんげいゆうざ	団体ウェブサイトURL
制作団体名	株式会社 劇団芸優座	<a href="https://www.geiyuza.com">https://www.geiyuza.com</a>
代表者職・氏名	代表取締役 平塚仁郎	
制作団体所在地	〒 182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4	最寄り駅(バス停) 京王多摩川駅
電話番号	042-489-4555(代)	
ふりがな	げきだんげいゆうざ	団体ウェブサイトURL
公演団体名	劇団芸優座	<a href="https://www.geiyuza.com">https://www.geiyuza.com</a>
代表者職・氏名	代表取締役 平塚仁郎	
公演団体所在地	〒 182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4	最寄り駅(バス停) 京王多摩川駅
制作団体 設立年月	昭和47年 11月	
制作団体組織	役職員 代表取締役 平塚 仁郎 取締役 村田 里絵 平塚 奈々 川口 勝也 監査役 平塚 キク	団体構成員及び加入条件等 制作部 7名 文芸演出部 3名 俳優部 31名(他に研究生) 加入条件:18歳・高卒以上 (制作は面接、俳優はオーディションで選考)
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名 村田 里絵
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名 伊澤 智子
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:geiyuza@mri.biglobe.ne.jp">geiyuza@mri.biglobe.ne.jp</a> <a href="mailto:info@geiyuza.com">info@geiyuza.com</a>	

<p>制作団体沿革</p>	<p>昭和47年に(株)総合プロモーションを設立後、舞台やTV番組の制作を始め、広いジャンルでの活動をしつつ、「面白く確かなテーマで」を創造理念として劇団を創設。以来「児童青少年の為だからこそ最高の演劇を」と、総合芸術である舞台劇の魅力を最大限伝えるべく全国で公演を続けています。平成3年、(株)劇団芸優座と改称し、平成10年より事務所・稽古場を現在地に構えています。劇団として、常に高い専門性を維持するために、新人から中堅・ベテランに至るまで、発声・ダンス・日舞等、専門家の指導の下での基礎訓練を重ねると同時に、児童青少年から大人一般まで、それぞれを対象とする様々な作品の自主公演実施など、日常的な鍛錬を日々欠かしません。</p> <p>(公社)日本児童青少年演劇協会・(公社)日本劇団協議会・児演協等 加盟</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>令和5年度上演中の小学生向けレパートリーは7作品。「天狗山のトロップ」は昭和47年の初演以来、既に2000ステージを超え、「パパはマジシャン」は平成18年度「本物の舞台芸術体験事業」で採択されました。令和元～5年「文化芸術による子供育成総合(推進)事業～巡回公演事業」で採択された「一休さん」のほか、「グリムのハンスと大悪魔」「秘密のロビンの大冒険」「角～いじめっ子姫の物語」は好評を頂き続演中。自由な構成と新たな手法で注目された「絵本の扉～新美南吉篇」や「ママの思い出」も公演数を伸ばしています。</p> <p>令和4年度12作品の実績は全国で、コロナ禍にありながら、合同公演も含め、高校59回、中学校27回、小学校46回、教育委員会主催公演・公文協など29回。</p> <p>(別添1参照)</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>新型コロナ感染症感染拡大の影響もあり、この作品における直近の公演実績はありません。ただし、過去の実績として、それぞれ各校の実情に合わせ、先生方と共に力を合わせ、公演を成功させてきました。何より大切なのは入念な事前の打ち合わせと準備であり、結果的には公演をはじめワークショップも、ほぼ当初計画の通り実施してきました。例えば公演については、聴覚障害のある生徒さんには字幕スーパーや手話を準備、視覚障害のある生徒さんには、音楽性を重視し、実際に舞台上がってもらうなど事前事後の指導を徹底し、肢体不自由の生徒さんには車いすの為の段差を観客席に設けます。また、ワークショップ・共演についても、先生と一緒に同じ役を演じて頂くなど、様々な状況に応じ、最大限可能にしたいと考えます。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/pFeRy-rzxGc">https://youtu.be/pFeRy-rzxGc</a> (別添2参照)</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団芸優座】

対象	小学生(低学年)	-	/
	小学生(中学年)	-	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	お芝居って、どうやってつくるの？		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p style="text-align: center;">まく あ どけい</p> <p style="text-align: center;">『幕が上がるまで～劇中劇「うた時計」』</p> <p style="text-align: center;">第一幕 稽古場にて ・ 第二幕 「うた時計」(劇中劇)</p> <p style="text-align: center;">脚本 平塚仁郎 演出 村田里絵 劇中劇原作:新美南吉</p> <p style="text-align: right;">公演時間70分</p>		
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>●お芝居のコツを伝授します！</p> <p>ある劇団の稽古場を、突然訪ねてきた中学生(小学生)たち、何やら質問があるようで…稽古の最中だった劇団員や演出家が、脚本の読み方に始まって稽古の仕方、準備から公演当日までのコツなどを芝居仕立てで伝授！ちょっと違う視点から、お芝居の魅力を発見することができます。</p> <p>第二幕では、「折角来たのだから」と、新美南吉の「うた時計」を観せてくれることに！何もない「稽古場」からガラリと変えて、本格的な舞台上、父と子の優しい物語をお楽しみください。</p> <p>●「うた時計」には、それぞれの年齢層に相応しいテーマがあります！</p> <p>◎次の一步を勇気をもって踏み出そうという時…親子の絆をあらためてみつめます。</p> <p>◎美しい心には、美しい心でこたえたい…そんな南吉の思いに触れて頂きたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(別添2参照)</p>		
演目選択理由	<p>公演の目的に合わせて・・・生徒さんの創造力・想像力を培い、コミュニケーション能力の向上と同時に、「演劇の楽しさ」を知ってもらうことで、将来の演劇観客人口の育成を図ると共に担い手をも育てることを目的とした作品を選定。</p> <p>事業効果の向上を図るために・・・生徒さんと共に、保護者の皆さま方も楽しめる作品を選定。</p> <p>第三者の評価から・・・公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」でも、特に芸術的にも教育的にも効果が高いとの評価を得た作品を選定。</p> <p style="text-align: right;">(別添3参照)</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>俳優として共演・・・1～4名が第一幕に「中学生(小学生)」として出演。衣装もメイクも本格的。エキストラにはさせません！</p> <p>全員参加！・・・ワークショップで練習した詩を全員で読みます。</p> <p>スタッフとして参加・・・場内アナウンスや裏方のお手伝いなど、チャンスは「俳優さん」だけではありません！</p> <p>その他の体験(バックステージツアーや交流会)・・・お別れのその時まで！</p> <p style="text-align: right;">(別添4参照)</p>		
出演者	<p>綾川志剛 西田廉義 池田文則 堀内愛海 南 幸男 鷹野裕美</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 6 名 スタッフ: 2 名 合計: 8 名	運搬	積載量: バン 車長: 4.99 m 台数: 1台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9～11時(共演生徒さんのリハ サル11時～45分程度)	13～14時10分	なし	14時30分～15時45分	16時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決 定後に確認します。(大幅な変更は認 められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	22日	20日	18日	20日	21日	
	11月	12月	1月	計	152日	
	20日	16日	15日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	7～20名程度(第一部は全校対象)
		鑑賞人数目安	50～1000名程度

### 第一幕 「稽古場にて」



体育館や講堂など、どこでも「稽古場」に見立てて演じられます。

### 第二幕 「うた時計」



第二幕も、ステージのない  
体育館等での公演も可能です。  
(別紙あり)



「男を追いかけてきた老人は、一体……」

公演に係るビジュアル  
イメージ  
(舞台の規模や演出が  
わかる写真)

※採択決定後、図  
面等の提出をお願い  
します。

「写生をしている少年に、声をかける  
謎めいた男……」

【公演団体名 劇団芸優座 】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	第一部:全校生徒 第二部:6～20名程度
ワークショップ実施形態及び内容	<p><b>実施形態について</b></p> <p>第一部(45分程度)・・・全校のみなさん対象(体育館) 事前鑑賞指導・実技の体験</p> <p>第二部(60分程度)・・・共演生徒さん対象(体育館・大会議室・レクリエーションルーム等) 出演のための演技指導</p> <p><b>実施内容について</b></p> <p>●鑑賞指導 プロジェクターでの美しい映像を見ながら、作品の粗筋やテーマ・時代背景、作家の生涯についてなど、簡潔に説明します。さらに、「生の舞台芸術」を鑑賞するためのポイントについてお話しします。所要時間は15分程度です。</p> <p>●実技指導 第一部では、30分程度、俳優たちが日々実践している<b>発声・発音の練習、呼吸法や準備運動等</b>を紹介し、実際にやってみます。 第二部では、<b>共演する生徒さんのみ</b>を対象に、2～30分ほどウォーミングアップとして、簡単な<b>インプロゲーム</b>をいくつか体験します。その後、「出演シーン」をプロジェクターで紹介し、イメージが湧いたところで、共演内容ごとに分かれ、<b>お芝居など本公演ためのお稽古</b>をします。 <span style="float: right;">(別添5参照)</span></p>		
ワークショップのねらい	<p><b>ねらい</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①児童・生徒の想像力・創造力を培う</li> <li>②児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図る</li> <li>③演劇の楽しさを知り、将来の演劇の観客人口の育成を図る</li> </ol> <p>◎事前の<b>鑑賞指導</b> 作品の背景等を知ること、<b>積極的で深い鑑賞</b>が可能となり、<b>より楽しめます</b>。</p> <p>◎<b>一緒に動いてみよう!</b> <b>体験・共演</b>を通じて、<b>舞台芸術が身近</b>になると思います。同時に、短時間に協力関係を築き、共に何かを創るという経験は<b>コミュニケーション能力の向上</b>に繋がります。 <span style="float: right;">(別添6参照)</span></p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p><b>学校のニーズに対応!</b></p> <p>演劇的アプローチにより、文化祭・演劇発表会のみならず、授業での発表や朗読など、様々な<b>学校の日常のシーン</b>において「効果」を上げるための方法が体験できます。具体的には発声法その他、注意の集中、リラックスして実力が発揮できるようにするための練習など、事前の打ち合わせで学校のご希望をうかがい、プログラムを作っていきます。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名

劇団芸優座

】

## ①本事業に対する取り組み姿勢

人生を豊かにし、生きていく支えともなる芸術、ことに演劇と、すべての子供たちに出会って頂きたい。それは、彼らの**芸術鑑賞能力の向上と、発想力・想像力をも育む**と信じます。劇団創設以来50年、学校演劇教室・芸術鑑賞教室に携わり、作品を創り続けてきた私共の信念、経験・実績はこの事業に大いに生かせるものと確信しております。

その事業の目玉ともいべきワークショップと共演などの参加の体験は、**共に創ること、実現させることの充実感や楽しさ、喜び**を感じることでできる貴重な経験となるでしょう。それは正に**次代の文化の担い手**、芸術を享受し支えていく者を育てることにもつながると信じます。

さらに、単に学校に劇団が来て公演をするということだけではなく、学校内で先生方以外の、**信念や夢を持ってその仕事に取り組む大人の姿**として、生徒さん方の将来へのメッセージになるのではないのでしょうか。

非常に忙しい学校現場で、**演劇教室**の意義や必要性をより一層ご理解頂ける絶好の機会としても、私共の創りうる最高の舞台をご覧いれなくてはならないと思っております。

この事業を通してもたらされる「ふれあい」「発見」「協調」、そして「創造」…それらは、学校生活のほんの一頁を飾るにすぎない、学校行事の一つかもしれません。でも、特別な輝きを持つものとして生徒さんたちの心に残したい…その為に、特にワークショップの内容は、**各学校の現状に則した効果的なもの**になるよう努めます。

(別添7参照)

## ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

●**なにより事前の打ち合わせを大切にします**

生徒さん方に満足して頂ける、**その学校らしい体験・鑑賞にしたい**…そのために最も重要なことは、**学校それぞれの独自性や豊かな多様性**を、私共がいち早く知り、少しでも理解することだと考えています。そこで、ワークショップや公演について、担当の先生方との事前の打ち合わせを、何度でも丁寧に行います。何を指すか、どんな効果を目指するか、先生方と沢山お話をさせて頂き、「学校」と劇団が共に創る、その過程を大事にします。

◎**ワークショップについて**

その時間を安心してお任せ頂けるよう、先生方に具体的に説明いたします。その上で、ご希望をうかがい、それぞれ学校の状況に応じた、各校**オリジナリティーのある形で実現**できるよう努めます。

◎**継続的なサポート**

ワークショップから本番までの間、**共演内容**についての打ち合わせや確認、当日を楽しみにお待ち頂くための、**公演の「宣伝」**のご協力など、連絡を途絶えさせないようにします。

◎**公演について**

これまで50年にわたり体育館で公演し続けてきたそのノウハウには自信がありますが、さらに最大の効果が上がるよう、**舞台監督等が下見をさせて頂いた上で入念に計画**を練ります。

また、安全や換気について配慮し、私共の行動経路の限定、生徒さん方の入退場や座席の位置について綿密にご相談いたします。

(別添8参照)

本事業に対する  
取り組み姿勢、および  
効果的かつ円滑に実施  
するための工夫

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

劇団芸優座

】

## ① 離島・へき地等における公演実績

劇団創設以来、(公社)日本児童青少年演劇協会による僻地を対象にした公演などで、小・中学生向け作品12作品以上、いずれも通算10公演以上を公演してきました。

近年では、「一休さん」は令和元年鹿児島県、「角」は令和2年宮城県・長崎県、令和3年鹿児島県、「ハンスと大悪魔」では鳥取県などの小規模小学校で公演しました。長崎県五島列島では平成25年、「アंकルトムの小屋の灯に」はスケールの大きな作品ですが、機材等は最小限におさえつつ、道具に工夫をこらし、ほぼ通常通り公演した実績があります。

## ② 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫

## 【特殊な事情がある地域での実施にあたっての工夫】

舞台劇が総合芸術であることを忘れず、会場がどのような条件であっても、道具・衣装・音楽など、「これぞ舞台劇」といえるような美しい舞台づくりを目指しますが、俳優の力量次第でそのいずれも、舞台条件が不利な部分を補うことは可能であると考えます。さらにこの作品においては、準備や上演時間を短くすることで、会場などスペースだけではなく、時間的にも小回りがきくようにしましたので、ワークショップとの同日開催も可能となり、開演時間についても融通がききます。

派遣人数・荷物の数そのものを厳選することで最小限にし、特に道具については、サイズを自由にコントロールできるドロップ(幕)1枚、組み立て式でコンパクトにおさまるパネルと延長式のバトンを数点ずつ、バン1台に積めるだけの量でありながら、あくまでも美しい舞台づくりを可能にするものです。照明も、学校の施設も有益に利用させて頂きつつ、LEDを主とした運びやすい物を持ち込みます。

第一幕はいわゆる「カラ舞台」の演出ですので、どんな所でも上演でき、第二幕の「うた時計」ではがらりと変わって、本格的な舞台をお楽しみ頂きます(第一幕と第二幕の間は休憩を入れることも可能です)。

## 【小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫】

そもそも、少数の登場人物ながら緻密で完成された作品を選択しており、小規模でも質においては何ら問題ありません。ワークショップ・本公演とも、規模による演出等の変更も必要ありません。少人数であれば、ワークショップは一層きめ細やかな対応ができ、さらに濃密で楽しい時間になるでしょう。小さな会場であれば、近くから一層迫力のある芝居が堪能できると思います。

## ③ C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫

## 【経費軽減の工夫】

移動・運搬が困難な地域においては、ワークショップと本公演を同日に開催することで派遣費を削減することが可能です。準備や上演時間といった設定された時間の問題だけではなく、内容的にも、ワークショップの内容が本番での体験・共演と直結していますので、一連の流れの中、違和感なく参加して頂けます。

また、優れた俳優は優れたスタッフでもありますので、経験豊かで高い技量を持つ最小限のメンバーを選びすぐっておうかがいします。

別紙あり

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

リンク先	No.1	【公演団体名 劇団芸優座 】																											
学校等における 公演実績	作品ごとの、過去10年間の公演実績は以下の通り																												
	<p data-bbox="560 461 850 495"><b>&lt;中学校・高校向け作品&gt;</b></p> <table data-bbox="608 501 1005 730"> <tr> <td>ベニスの商人</td> <td>834回</td> </tr> <tr> <td>アンクルトムの小屋の灯に</td> <td>141回</td> </tr> <tr> <td>最後の一片</td> <td>232回</td> </tr> <tr> <td>チャーホフ先生こんにちは</td> <td>69回</td> </tr> <tr> <td>それぞれの絆</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>昇らぬ朝日のあるものを</td> <td>51回</td> </tr> </table> <p data-bbox="560 775 778 808"><b>&lt;小学校向け作品&gt;</b></p> <table data-bbox="608 815 1005 1111"> <tr> <td>天狗山のトロッ平</td> <td>228回</td> </tr> <tr> <td>グリムのハンスと大悪魔</td> <td>249回</td> </tr> <tr> <td>パパはマジシャン</td> <td>152回</td> </tr> <tr> <td>秘密のロビンの大冒険</td> <td>185回</td> </tr> <tr> <td>一休さん</td> <td>398回</td> </tr> <tr> <td>角〜いじめっ子姫の物語</td> <td>356回</td> </tr> <tr> <td>絵本の扉</td> <td>36回</td> </tr> <tr> <td>ママの思い出</td> <td>16回</td> </tr> </table>		ベニスの商人	834回	アンクルトムの小屋の灯に	141回	最後の一片	232回	チャーホフ先生こんにちは	69回	それぞれの絆	25回	昇らぬ朝日のあるものを	51回	天狗山のトロッ平	228回	グリムのハンスと大悪魔	249回	パパはマジシャン	152回	秘密のロビンの大冒険	185回	一休さん	398回	角〜いじめっ子姫の物語	356回	絵本の扉	36回	ママの思い出
ベニスの商人	834回																												
アンクルトムの小屋の灯に	141回																												
最後の一片	232回																												
チャーホフ先生こんにちは	69回																												
それぞれの絆	25回																												
昇らぬ朝日のあるものを	51回																												
天狗山のトロッ平	228回																												
グリムのハンスと大悪魔	249回																												
パパはマジシャン	152回																												
秘密のロビンの大冒険	185回																												
一休さん	398回																												
角〜いじめっ子姫の物語	356回																												
絵本の扉	36回																												
ママの思い出	16回																												



リンク先	No.2	【公演団体名	劇団芸優座 】
演目概要	<p><b>あらすじ</b></p> <p><b>第一幕 「稽古場にて」</b></p> <p>ある劇団の稽古場を、突然訪ねてきた中学生(小学生)たち！ どうやら近々、クラスでお芝居をしなくてはならないのに、一体何をどうしたらいいの全く分からないというのです。すると、稽古の真っ最中だった演出家や劇団員たちが、脚本の読み方や稽古の仕方に始まって、準備から公演当日までのコツなど、<b>劇団オリジナル脚本「ももたろうがやってくる」</b>を読みながら伝授！そして、折角だからと、稽古中だったお芝居もみせてくれることに！</p> <p>※「ももたろうがやってくる」・・・明日は生まれたばかりの弟と母親が帰ってくる、そんな夜、一緒に留守番をしているお父さんに、新米お兄ちゃんが創作した「新・ももたろう」を語ります。そこには、これから始まる新しい生活への不安や期待、そして嫉妬などが渦巻いて・・・「家族」のありようを見つめます。</p> <p><b>第二幕 「うた時計」</b></p> <p>冬の暖かい日、峠の道で写生をしていた少年はある男と出会います。話をしているうちに偶然、男のコートのポケットからオルゴールが鳴り出しました。それは少年の大好きな音楽で、よく行く薬局にも同じ曲のオルゴールがあるのです。そして、薬局のおじさんがそれをとても大切にしている、その曲を聴くと、いなくなってしまった息子を思い出すことや、少年の妹が病気で死ぬ間際に聞きたがったことなど、少年から聞くうちに男は・・・一体この人は誰なののでしょうか。</p> <p>☆ <b>公開資料</b>について・・・公開されている「絵本の扉～新美南吉篇」では、プロローグ、第一幕「手袋を買いに」と続き、第二幕が「うた時計」です。</p> <p><b>テーマについて</b></p> <p><b>明快で共感できるテーマがあります！</b></p> <p>◎ お芝居やってみようよ！</p> <p>この事業でのワークショップや「共演」の体験は、私共にとって、本当に実りある素晴らしいものばかりで、これからもぜひ、お芝居を経験してほしいと願っています。だからこそ、クラスや学年で、お芝居をつくり出演なさるときのお手伝いができないかと考え、その一つの方法として、この第一幕を制作しました。お芝居はもっと自由に楽しいもの・・・恐れることなくチャレンジするために必要な、ちょっとしたアイデアをお届けします。</p> <p>◎ 美しい心には美しい心で応えたい・・・（ 第二幕より ）</p> <p>生まれながらに悪い人はいないという南吉の思いは、きっと人はみな、美しい心には美しい心で応じたいのだと信じることに通じると思います。偶然出会った少年のまっすぐな心に触れた男は、ふと足を止め、「やりなおす」ことを選びますが、どこでどんな生き方をしている、親は子を、そして子は親を思うもの・・・そして、そのことそのものが、人を支えるのだと思います。</p> <p>★ 美しい日本語の世界</p> <p>幕が上がると舞台には、かつて日本中どこにでもあった美しい情景が広がります。それぞれの絆を大切に、日々を丁寧に暮らしていた・・・新美南吉が描く、そんな忘れかけた日本の姿、そして美しい日本語を味わい、発見して頂きたいと思います。それがまた、日本の自然や文化を今一度見つめなおすきっかけになると信じます。</p>		

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団芸優座	】
演目選択理由	<p>&lt;公演の目的に合わせての作品選定&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ この作品は、演劇としての「観る楽しさ」と共に、その体験をもとに、活動を様々な方向に広げ、深めていくことができます。この作品の中で、劇団を訪ねてくるのは、学芸会や文化祭などでお芝居をやることになり、お芝居について、いろいろと疑問や悩みを抱えた中学生(小学生)です。鑑賞後、実際にお芝居をするためにも役立つと同時に、演劇を別の視点からみることにより、その魅力を発見することができるかと確信しています。</li> </ul> <p>また、劇中劇として新美南吉の作品が芸優座オリジナル脚本で上演されますので、原作に触れて頂くことを強くお勧めし読書体験との相乗効果を実感して頂きたいと思います。さらに、他の作品の面白さを発見したり、さらに、たとえば作者や時代背景について調べることが、作品の理解を深めることを経験したり、その「調べること」そのものの楽しさをも知る機会にして頂ければと願っています。</p> <p>また、ワークショップでは、発声やリラックスと集中の練習など、文化祭や発表などだけでなく、日常の学校生活でも、具体的に役立てて頂けるような取り組みもします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対象を「小学生中学年から中学生」としていますが、それぞれの年齢層に響く深いテーマがあることと、芝居に見応えがあり小学校1年生から大人まで、楽しく、しっかりと鑑賞して頂いている実績があります。</li> </ul> <p>&lt;事業効果の向上を図るために&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ この体験をきっかけに、みんなでお芝居をやってみよう…この作品は芝居仕立てで、演劇そのものへの理解が深まる内容になっており、ワークショップでの体験も生かされます。一人でも多くの生徒さんにお芝居を体験して頂きたいと願って制作されました。</li> <li>○ 観劇後、みんなで考え、語り合おう…この作品には、つまふと誰かの温かい手を思い出す瞬間があると思います。生きる世界も時代も違うけれど、あらためて親と子の絆をみつめなおして頂きたい。そして、恐れすることなく人を信じ、恐れることなく新しい世界へ飛び出して行って、そんな願いのもと、この作品は制作されました。文字通り、「子供から大人まで」観劇した人みんなで、深く考えたり語りあえる作品です。</li> </ul> <p>&lt;第三者の評価から&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」でも、いずれの作品も高い評価を得ています。令和5年度は、中学生向け5作品から、特に芸術的にも教育的にも効果が高いとの評価を得た作品を選定しました。</li> <li>○ 初演以来、全国の小・中学校や鑑賞会等、多くの方々をご覧下さり、ご好評を頂いています。「体育館を劇場に」と、あくまでもオーソドックスであることに拘った美しい舞台、明確なテーマとテンポの良い分かりやすいストーリーは、初めて舞台劇を観る方にも、その魅力をしっかり感じて頂けるものと信じます。また平易で分かりやすいセリフと、童話の世界を損なうことなく表現する動きで、低学年の生徒さんも十分楽しめます。</li> </ul>			

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団芸術座 】
<p>児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態</p>	<p style="text-align: center;"><b>「共演」「参加」「体験」の具体的なプランについて</b></p> <p>舞台芸術は観客と共に創るもの…そこへ向かうことが「体験」の根幹と考え、だからこそ、「共演」を大事な手段として選びます。友達が舞台に登場すれば、舞台がさらに身近に感じられるでしょう。また、共演などを体験して下さった生徒さん方は、この経験が、これから舞台芸術の世界を目指すきっかけになったら…そう願っています。</p> <p><b>俳優として共演</b></p> <p>生徒さん(先生でも可)1～4名程のご出演を想定しています。勿論、学年・男女・経験は問いません。基本の出演シーンは第一幕で、劇団の稽古場へ質問をしに行く中学生(小学生)の役です。ご希望が多い場合、舞台転換で、原作の朗読をして頂く「朗読者」として数名出演可能です。</p> <p>簡単なセリフと動きを覚え、朗読の練習をして頂きますが、一番大事なことは「間違えない」ことではありません。役に扮する事を体験する中で、<b>自分らしさを知り、それを表現する事の楽しさ、積極的にコミュニケーションを図り、互いを信頼することの大切さ、共に創り上げること、そして、演劇の面白さを実感して頂くことです。</b>単なるエキストラではなく、あくまでも共演者として、出演して頂きます。</p> <p>(共演する生徒さん方も、しっかり鑑賞できるよう工夫しています)</p> <p><b>全員で体験</b></p> <p>第一幕、劇団を訪ねた中学生(小学生)と一緒に、発声・発音練習を客席にしながら体験します。ワークショップで練習した北原白秋の詩「五十音」の一節も読みます。</p> <p><b>スタッフとして参加</b></p> <p>劇中の演出効果を高めるための手伝いや、開演前や幕間のアナウンス、小道具・衣装の確認・管理や舞台転換の手伝いなど、舞台の裏方の仕事を1～3名体験できます。<b>舞台芸術は俳優だけでは完成しないのだ</b>ということ、力を合わせて一つのものを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。</p> <p>リハーサル中には、他の共演者と共に、舞台転換の様子を見ながら説明が聞け、舞台の仕組みなど知ることができます。</p> <p><b>上演後の体験として</b></p> <p>舞台を一層身近に感じてもらえるよう、上演後の<b>バックステージツアー</b>や、俳優達との<b>交流会</b>などが実施可能です。また、条件次第ではばらし作業の見学や「お手伝い」もできます。「劇場」が、いつもの体育館へと戻っていく様子を目の当たりにするのも、楽しい経験だと思います。</p> <p style="text-align: right;"><b>ばらし作業の手伝い</b></p> <div data-bbox="756 1688 1026 1832" data-label="Image"> </div>		

リンク先	No.3	【公演団体名	劇団芸優座 】
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>&lt;当劇団のワークショップの目的&gt;</p> <p>①児童・生徒の想像力・創造力を培う ②児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図る ③将来の演劇観客人口の育成を図るため「演劇の楽しさ」を知ってもらう</p> <p>&lt;ワークショップの具体的なプラン&gt;</p> <p>①鑑賞指導… 全校生徒の皆さんを対象に(15分程度) 主に劇中劇の粗筋やテーマ・見所、舞台となる街の当時の風景や時代背景、さらに作家の生涯についてなどなど、<b>プロジェクターでの美しい映像</b>を見ながら簡潔に説明します。その結果、本番を心待ちにして頂けますし、当日の観劇体験がより豊かになると同時に、作品に対しても深い理解と感動が得られます。</p> <p>②実技指導…</p> <p>1)全校生徒の皆さんを対象に(30分程度) 続いて、俳優が日々続けている<b>発声・発音の練習、呼吸法</b>や<b>準備運動等一緒に</b>やってみます。この時、劇団員が生徒さんたちの中に入っていきますので、すぐそばで舞台の声を聞きながら体験できます。さらに、生徒さんの<b>日常生活に役立つ演劇訓練</b>として、たとえば、人前で上がらずに発表したり、自分らしいパフォーマンスができるようになるための<b>「リラックスと集中」の訓練</b>を紹介します。最後に、本番での参加方法を確認し、練習します。</p> <p>2)共演する生徒さんを対象に(20分) 「<b>出演シーン</b>」のお稽古の前に、その<b>ウォーミングアップ</b>として、<b>コミュニケーションをとる事の大切さ、体一杯で表現することの面白さ</b>等を経験して頂くことを最大の目標として、簡単なインプロゲームを楽しみます。状況に応じて幾つかのプログラムを選びながら目的をはっきりもって、意識的に動いて頂ける動いて頂けるよう工夫しています。続いて、身近なシチュエーションを用いて、誰にでもできるシンプルで簡単なエチュードなど、演技するための具体的な訓練を体験します。</p> <p>③共演の練習…(30～40分) いよいよ最後に、<b>お芝居のお稽古</b>をします。その役のおかれている状況を説明した後、それぞれのセリフや動きを覚えたり、生徒さん方ご自身のアイディアを大切にしながら、その役について研究します。ここまでで既に劇団員とも連帯感が生まれ、リラックスしたムードでお稽古は進みます。 本番前の緊張も良い経験で <b>すが、あくまでも楽しい体験</b>となるよう、<b>生徒さん方が自信をもって</b>当日を迎えられるよう配慮します。(当日もリハーサルがあります)</p> <p>☆「スタッフ」「朗読者」をご希望の生徒さん方も、②までは一緒に参加して頂きますが、その後は「俳優」陣とは分かれれます。「スタッフ」さんは、舞台や大道具についての説明を受けた後、役割分担をし、「効果」などの練習をします。「朗読者」さんは、事前に配布された原稿の朗読や舞台への出入りを練習します。</p>	 <p>プロジェクターで写真を見ながら、作品の解説を聞いています。</p>  <p>プロジェクターで写真を見ながら、作品の解説を聞いています。</p>  <p>舞台の上で、立ち位置を確認します。</p>	

リンク先	No.3	【公演団体名 劇団芸優座 】
<p>ワークショップ のねらい</p>	<p><b>◎事前の鑑賞指導について</b></p> <p>観劇前に、わずかでも作品の背景を知ること、本番当日、<b>積極的で深い鑑賞</b>が可能となり、<b>より楽しめます</b>。また、そもそも舞台芸術が<b>「観客」と共に創造していくものである</b>という事を、この事業を通じて「体験」して頂きたいと願い、「生の舞台芸術」鑑賞のポイントについてお話させていただきます。</p> <p>何より、楽しかったというその体験こそが、<b>将来の良き「観客」、そして「担い手」</b>を生み育むと考え、ワークショップの段階から、豊かな時間となるよう工夫します。</p> <p><b>◎学校のニーズに対応します！</b></p> <p>第一部の全校向けの演劇体験では、<b>ご希望によって、発表会・文化祭・演劇部など</b>、まさに今、学校が必要とされていることについて、具体的にアドバイスやご指導をさせて頂くことも可能です。これまで、効果的な発声練習や舞台上で上がらない方法、集中の仕方、あるいは演出上の工夫などについて体験をして頂きました。さらには、朗読や発言・発表などでの話し方、大勢で声を合わせるコツなども、効果を上げる具体的な手法を体験して頂くこともできます。</p> <p><b>◎とにかく、一緒に動いてみよう！</b></p> <p>共演を通じて、<b>舞台芸術が身近</b>になり、さらに深く興味を持って頂きたいと願っています。そして、覚えた事を「正しく」やるのが目的ではなく、自ら心身共に解き放ち、自分を表現する事の喜びや、<b>他人と協力しながら何かを創り上げる事の喜び</b>を経験して頂きたいと思います。</p> <p>また、その為に必要な信頼関係を短い時間で築く方法として、まずは、一緒に動くことから始めるのですが、その経験こそ、<b>コミュニケーション能力の向上</b>につながると思います。</p> <p>実施後、先生方から、「生徒たちの、これまで学校や授業では見せたことのない顔が見られた」「思いがけない生徒が参加を希望し、生き生きと活動し、驚かされた」といったお声を頂くことが度々あります。この事業におけるワークショップの大きな意義がここにもあると思います。</p>	

リンク先	No.4	【公演団体名	劇団芸術座 】
<p>本事業への 申請理由</p>	<p><b>事業に対する取り組み姿勢</b></p> <p>いわゆる芸術が、生きていく上での大切な支えになると同時に、人生を美しく豊かにする事は言うまでもありません。一人で生きる時も人と生きる時も、その為に必要な知恵や勇気や想像力は、演劇から得られると信じます。そんな演劇と、子供たちの日常である学校の時間の中で、しかも、<b>身近な体育館という場</b>で出会って頂きたい。そしてそれは、確実に子供たちの<b>芸術鑑賞能力の向上</b>につながり、さらには、<b>発想力・想像力を育む</b>と信じます。</p> <p>私共は劇団創設以来40年以上、学校演劇教室・芸術鑑賞教室に携わり、生徒・児童のための舞台・演劇作品を創り続けてきましたが、それゆえ、殊に体育館での上演には拘りを持って来まして。私共が持つ信念、経験・実績は、この事業のためにも生かせるものと確信しております。</p> <p>また、この事業の目玉ともいべきワークショップと共演などの参加や体験ですが、<b>事前交流と鑑賞指導は、非常に積極的で深い鑑賞につながり</b>、さらに、同校の生徒さんや先生方が共演するということが、芸術そのものを身近にし、本番を益々楽しみなものにします。また、演劇とは何かを知ること、実技を体験することは、<b>将来の俳優や舞台芸術にかかわる芸術家を生むきっかけ</b>となり得、意味深いものですが、たとえ短い、部分的な場面であっても、<b>共に創りあうこと、実現させることの充実感や楽しさ、喜び</b>は大変貴重な経験になるでしょう。それはまさに<b>次代の文化の担い手</b>、芸術を享受し支えていく者を育てることにもつながると信じます。ワークショップや共演の内容においても、その経験が<b>子供たちのコミュニケーション能力の向上</b>そのものにも資する様、常に反省と工夫をし、生きたものにするべく努力します。</p> <p>さらにこの取り組みは、単に学校に劇団が来て公演をするということだけではなく、大人の、プロの役者が、設営から上演・撤収までをお見せすることで、つまり、学校内で先生方以外の、<b>信念や夢を持ってその仕事に取り組む大人の姿</b>として、生徒さん方の将来へのなんらかのメッセージになるとも信じます。</p> <p>非常に忙しい学校の現場で、<b>演劇教室</b>の意義や重要性・必要性をご理解頂き、先生方と共に、それを創り上げることが、単独の劇団の努力だけでは益々難しくなっている昨今、この事業は、学校にあらためてそれを具体的に感じて頂ける絶好の機会になっています。そして、最大限そのチャンスを生かすためには、何よりもまず第一に、私共の創りうる最高の舞台をご覧いれなくてはならない、<b>一期一会の出会いとの覚悟をもって日々最善を尽くさなくてはならない</b>と思っております。</p> <p>この事業を通してもたらされる「ふれあい」「発見」「協調」、そして「創造」・・・それらは、学校生活のほんの一頁を飾る、数ある学校行事の中の一つにすぎないかもしれませんが、でも、特別な輝きを持つものとして生徒さんたちの心に残したい・・・その為に、特にワークショップの内容は、<b>各学校の現状に則した効果的なもの</b>になるよう努めます。</p> <p>また、今後、学校と共に、保護者の方々をも巻き込んでいけるような「行事」になっていけば・・・その為に何が出来るか、そのことも常に考えてまいりたいと思います。</p> <p>この事業によって、ただ公演して終わりではない、そんな演劇教室の可能性が大きく広がったと同時に、生徒さん方に芸術との出会いの場を創る事は、私共にとっては使命であると同時に喜びでもあることを再認識させて頂きました。そのことに深く感謝すると共に、その一端に携わることが出来ればこの上も無い喜びです。</p>		

リンク先	No.4	【公演団体名	劇団芸優座	】
本事業への 申請理由	②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫			
	<p data-bbox="480 472 927 504"><b>なにより事前の打ち合わせを大切にします</b></p> <p data-bbox="480 548 1382 640">生徒さん方に満足して頂ける、<b>その学校らしい体験・鑑賞にしたい</b>…そのために最も重要なことは、<b>学校それぞれの独自性や豊かな多様性</b>を、私共がいち早く知り、少しでも理解することだと考えています。</p> <p data-bbox="480 651 1382 743">そこで、ワークショップや公演について、担当の先生方との事前の打ち合わせを、何度でも丁寧に行います。何を指すか、どんな効果を目標にするか、先生方と沢山お話を させて頂き、「学校」と劇団が共に創る、その過程を大事にします。</p> <p data-bbox="528 788 1270 853">★まず文書で、ワークショップと本番の公演の内容、学校側にご準備頂く事や会場条件などを、<b>出来るだけ具体的</b>にお知らせします。</p> <p data-bbox="528 864 1222 929">★その後、電話・メール等で疑問点や必要事項をうかがい、それを基に、ワークショップの実施前に、<b>直接お目にかかって</b>打ち合わせをします。</p> <p data-bbox="539 1019 778 1050">◎<b>ワークショップについて</b></p> <p data-bbox="539 1061 1302 1176">その時間を安心して劇団の担当者・指導員にお任せ頂けるよう、先生方にはできるだけ具体的に説明させて頂きます。その上で、ご希望をうかがい、それぞれ学校の状況に応じた、各校<b>オリジナリティーのある形で実現</b>できるよう努めます。</p> <p data-bbox="539 1232 738 1263">◎<b>継続的なサポート</b></p> <p data-bbox="539 1274 1302 1422">ワークショップから本番までのおよそ一か月間は、先生方のご協力とご指導等をお願いする部分が多くなりますが、引き続き、<b>共演者のお稽古</b>についての打ち合わせや確認をしたり、生徒さん方に当日を楽しみにお待ち頂ける様、<b>公演の「宣伝」</b>のための材料やノウハウのご提供をしたり、連絡を途絶えさせないようにします。</p> <p data-bbox="539 1476 699 1507">◎<b>公演について</b></p> <p data-bbox="539 1518 1302 1610">これまでおよそ50年、体育館で公演し続け、蓄積されたノウハウには自信があります。さらに、各々の体育館の条件の許す限り、最大の効果が上がるよう、<b>舞台監督等が下見をさせて頂いた上で入念に計画を練ります。</b></p> <p data-bbox="539 1621 1302 1686">また、安全や換気について配慮しながら、生徒さん方の入退場や、座席の位置についてご相談することは、体育館公演では必須であると考えています。</p>			

## ステージ または 演じるスペース

※ドロップまたは暗幕はなくても上演は可能。ただし、最大のサイズは1820cm×728cm



観客席



